



2024年3月27日

各位

会社名 京葉瓦斯株式会社
代表者名 代表取締役社長 江口 孝
(コード番号：9539 スタンド市場)
問合せ先 取締役 常務執行役員 三浦 一棋
(Tel.047-325-4111)

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について

当社は、2021年12月28日に、スタンダード市場の上場維持基準への適合に向けた計画を提出し、その内容について開示しております。2023年12月末時点における計画の進捗状況等について、下記のとおり作成しましたので、お知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移および計画期間

当社の2023年12月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準への適合状況はその推移を含め、以下のとおりとなっており、流通株式比率について基準を充たしておりません。当社は、下表のとおり2024年12月末までに上場維持基準を充たすために、引き続き各種取り組みを進めてまいります。

		株主数	流通株式数	流通株式 時価総額	流通株式比率
当社の 適合状況 および その推移※	2021年6月末	1,092人	17,226単位	57億円	15.7%
	2023年12月末	1,414人	27,021単位	66億円	24.7%
上場維持基準		400人	2,000単位	10億円	25%
当初の計画書に記載した 計画期間		—	—	—	2024年12月末

※当社の適合状況は、東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況等をもとに算出を行ったものです。

2. 当社の上場維持基準への適合に向けた取り組みの実施状況および評価

当社は、上場維持基準に適合するため、2021年12月28日に開示した「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」において、株式の流動性向上により、持続的成長と中長期的な企業価値向上の実現を図ることを基本方針とし、政策保有株式として保有される当社株式の縮小に取り組んでまいりました。

具体的な取り組みとして、当社株式を保有する国内の普通銀行・保険会社・事業法人に対して、株式保有比率の引き下げに関して株主から理解が得られるよう協議を重ねてまいりました。併せて、政策保有株式として保有される株式がより処分を進めやすくなるよう、決算説明資料の公開をはじめとするIR活動の強化に取り組み、流動性の向上をはかってまいりました。

その結果、政策保有株式として保有される当社株式の処分や保有方針の見直しが進められ、流通株式比率の改善がはかられました。

3. 上場維持基準に適合していない項目ごとのこれまでの状況を踏まえた今後の課題と取組内容

スタンダード市場上場維持基準の充足に向けて、現時点では計画の変更の必要性はないものと判断しています。

当社は、引き続き当社株式を保有する国内の普通銀行・保険会社・事業法人に対して、株式保有比率の引き下げに関して協議を進めるとともに、2021年11月30日に公表した「長期経営ビジョン2030」「中期経営計画2022-2024」に着実に取り組むことで、企業価値を向上し、株式を売買しやすい環境を醸成していくことを通じ、流通株式比率の継続的な向上に努めてまいります。

<長期経営ビジョン2030・中期経営計画2022-2024>

<https://www.keiyogas.co.jp/company/profile/tyuukiplan.html>

以上